

ファイブ・スペシヤリティ

クラゲ由来コラーゲン利用

研究用試薬 実用化へ

海月 研究用試薬 溶液タイプで高水溶性

理研発ベンチャー企業  
の海月研究所(本社・川  
崎市高津区、木平孝治社  
長)は、クラゲ由来の水

豚由来のコラーゲンは  
で細胞  
の体外培  
養基材と  
して利用  
されている  
が、同  
社が開発  
中の製品  
はクラゲ  
から抽出  
したコラ



常温でも簡単に扱える溶液  
タイプの試薬を目指す

ゲンのため溶液タイプ  
で水溶性が高く、培養皿  
にコーティングしたり、  
培地と混合して使いやす  
い。今期は試作品を完成  
させ、来期にも発売する。  
同社はすでに、日本治  
岸でとれたミスクラゲか  
ら抽出・精製した水溶性  
コラーゲンをうい、凍結  
乾燥品の研究用試薬を販  
売しているが、常温でも  
より簡単に扱える溶液タ  
イプの試薬の製品化を目  
指している。高純度かつ

高品質な未変性コラーゲ  
ンで、商品名は「Jeli  
Collagen」  
となる予定。

コラーゲンは、3重らせん構造を持つ細胞外マトリックス(ECM)の主要なたん白質であり、生体内において各種細胞の接着、分化、増殖など多様な機能を持つことか  
ら、細胞の体外培養基材として利用されている。同社の研究用試薬は、再生医療の鍵となる幹細胞の培養で優位性が発揮できるとみて開発を進めている。